

2020 年度第 2 回 OLSP 運営会議議事録 抄録

日時：2020 年 5 月 7 日（木） 14：00~16:00

会場：WebEX

出席者（敬称略）：有田、大浪、粕川、小林、田中、榎屋、横田、関口（記録）
情報システム本部推進室 志岐、今井、御法川

1. 報告事項

① 生命科学分野の連絡協議会の状況について（志岐）

OLSP メンバーの連絡協議会参加・ユニット設立にむけて、美濃理事と各センター長との打合せの場を 5 月中に実施を目指して調整中である旨報告があった（播磨は実施済）。ユニット設立の時期について、上記打合せ後 7 月初旬の設立が最短の見込で、このスケジュールで進めることで合意を得た。

田中より、CBS を代表して OLSP へ参加することに CBS センター長から了承を得たが、OLSP の活動が今後ユニット移行することに関しては説明を保留しているため、ユニット参加承認にあたり必要な事項を明確に説明できる資料の依頼があった。→志岐が作成し、まずは OLSP メンバーに共有することとなった。

② FY2021 概算要求の状況について（志岐）

オープンサイエンス事業の概算予算要求のために何らかの成果が求められる。情報があれば推進室に共有すること。

2. 審議事項

① 2020 年度予算について

OLSP 予算の各研究室への配賦案が大浪により共有された。前年度に対し、プロジェクト研究費は従事者の採用の見込みがない状況につき大幅に変更された。人件費は配賦予定先において採用者未定の場合は、まずは人件費の半分が配賦される。プロジェクト研究費の半分も研究員採用未定につき 50%配賦される。結果としての留保分は公募したプロジェクトに活用することとなった。

また、和光配置の統合データスタッフ（1 名）は基本的には田中研に所属の予定（人件費は田中研に配賦）であるが、センターの方針にもよるので今後協議する。新設ユニットでの採用も可能とする（研究者として 1 名）。求める人材については今後協議することとなった。

② 2020 年度の活動について

1. OLSP 公募プロジェクト（案）について

理研内部で募集し、公募プロジェクトの目的である「本事業でメタデータが付与されたデータを活用した研究」「メタデータやデータの集約があることで可能になる連携研究」「国内外のオープンサイエンスを先導する研究」、さらに本運営会議で追加された「集めたデータを利用しやすいようにするツール群の開発」のいずれかをめざす研究課題で、予算の点で研究期間が1年に限られることから、例えば Non-PI ならば理研奨励課題等へつなげられる研究であることも期待している。予算は本課題の直接経費に活用することを期待している。予算執行管理方法は今後検討することとなった。

公募の形式

- **通常の公募**
- **テーマを指定したコンテスト形式**
テーマ案：集積したデータを利活用するためのツールの開発。
費用は OLSP が負担する。
- **新しいデータの募集（実験的に新しく取得する or 既存のデータを OLSP DB 集約する）**
既に集積されたデータを用いた研究をさらに発展させるためのデータを募集する。

上記3つの形式はすべて進め、予算は本部留保予算から支出することで了承を得た。OLSP からは粕川が担当者とし、運営サポートは情報システム本部推進室（志岐）が事務局として担うこととなった。秋頃開始を目指す。

2. 2020 年度の活動（案）について

次回の運営会議にて議論することとなった。

- **オントロジーの指針作り、コンサルの補足について**
オントロジーの専門家である山縣研究員が着任したことで、DB で用いるワードの統一性をもつよう指南をうけながら、効率的にメタデータ付けができるようになる。オントロジーが確立されていない分野については、国際標準となるオントロジーを開発することができる。暫定ではあるが、ハッカソン用 Slack を山縣との議論の場として活用できる。しかし、オントロジーについて議論する場所は1つに集約しなければ、結局それぞれのオントロジーを統合するときにマッピングする作業が発生してしまうため、今年度中にコンサルティングの仕組みを確実に構築することを目指す。

3. その他

① 戦略的研究パートナーとの国際連携事業へ（大浪）

大浪は SciLifeLab とのデータ集積センターに関する知識共有といった国際連携を行っ

ているが、OLSP とも関連するため本課題に応募するかどうかを検討しており、各々が行う国際連携でふさわしい課題がないか情報共有の依頼があった。各センターから案件を絞って応募されるので、OLSP から応募するならば、ユニット設置予定として情報システム枠から応募を検討したい。

② 会議資料の翻訳

日本語非母国者の TL へ共有するため、資料の翻訳は必要であるが、翻訳チームの協力は難しいという意見があった。

③ 第3回運営会議

日時： 2020年6月15日（月） 14:00～16:00

会場： WebEX

以上